

地下鉄短信 (第546号) 令和5年2月2日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 橋田 慶司
電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187

**記事〇 令和5年「講演会」(主催:日本地下鉄協会)を開催****〇 令和5年「講演会」(主催:日本地下鉄協会)を開催しました。**

去る1月31日(火)16時から、東京都千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷「富士西」において、国土交通省鉄道局長 上原淳様を講師としてお迎えして、「(一社)日本地下鉄協会令和5年講演会」を開催しました。

今回の講演会は、昨年に引き続き、会場での聴講とリモート視聴での併用の開催としましたが、協会会員をはじめ 協会関係者・関係団体等から昨年を上回る140名を超える多数の方々に参加いただく事が出来ました。



冒頭、主催者を代表して協会副会長の根津東武鉄道(株)代表取締役社長の挨拶の後、講演に入りました。

講師の上原局長は、昭和62年に旧運輸省に入省され、鉄道局をはじめ、航空局、総合政策局、自動車局、観光庁など、幅広く運輸行政に携わられ、令和2年7月に海上保安庁次長から、現職の鉄道局長に就任されました。

講演では、「都市鉄道の現状について」という演題で、①新型コロナウイルス禍における直近の輸送状況や決算状況から鉄道事業に及ぼしている影響②令和4年度第2次補正予算、令和5年度当初予算案における鉄道関連予算及び税制の概要並びに地域公共交通再構築事業等の新施策③福岡市七隈線の開業予定、なにわ筋線整備、東京メトロ有楽町線及び南北線の延伸等の都市鉄道の整備状況④最近の動向として、令和3年5月に閣議決定されました第二次交通基本計画に基づき鉄道局で取り組まれている運賃・料金に関する問題及びカーボンニュートラルに向けた取組等について、詳細な資料に基づいてご説明していただきました。

鉄道行政の現状と課題、都市鉄道のあり方と今後の方向などが凝縮された、各鉄道関係者の今後の経営にとって非常に示唆に富む、有意義なご講演でした。



上原局長のご講演

(注) 必要に応じ、社局内への転送、回覧などをお願いいたします。

配信先の変更又は追加をご希望の場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

また、本短信についてのご意見、ご要望等もお寄せ下さい。 連絡先: hashida@jametro.or.jp